



- ◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。
- ◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。
- ◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

一般質問



9月定例会では13名の議員が一般質問を行いました。その概要をお知らせします。本会議のネット中継及び録画配信を行っています。ホームページまたは、各議員のQRコードから視聴できます。ぜひ、ご覧ください。

9月定例会において延べ27名の方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

大信の振興策について、再度、市長答弁を



県道矢吹天栄線の整備を県に要望し、特色を活かし希望がもてる振興策を講じる

北野 唯道 議員

問 6月議会の一般質問で市長答弁をいただいたが、これから先の大信の振興策について、再度答弁をいただきたい。

答 とりわけ県道矢吹天栄線は国道4号や矢吹ICに近く、この道路の整備により地域の「仕事」と「生活」と「憩い」の拠点が強く結ばれ、全体の発展につながることから、町屋・日和田間の早期改良はもとより、残る区間についても、一日も早い整備を引き続き県に対し要望していく。

問 白河市民のうち、ワクチン接種を希望しない人の男女別人数について

答 9月7日現在、男性4752人で対象者の17・6%、女性4136人で15・2%、合計8888人で16・4%となっている。

問 市営住宅の家賃滞納問題について伺う。

答 令和元年度決算において、滞納している入居者が172人で滞納額は1億2495万3388円となっている。令和2年度決算においては滞納入居者が148人で、滞納額は1億41万2748円となっている。



名誉市民今井珠泉画伯にちなみ美術館建設を望む



市の魅力向上効果が期待されるので建設について研究する必要があると考える

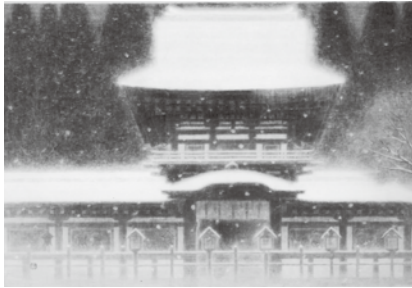
佐川 京子 議員

問 犯罪被害者等支援の早期条例制定を望む市民の声にこたえて欲しい

答 県からも市町村に対して被害者支援の基本施策と二次的被害への十分な配慮を盛り込んだ条例制定の要請があったところである。検討を重ね、年度内制定に向け取り組む。

問 白河の誇る今井珠泉画伯、関根正二画伯の作品を中心に展示する美術館建設を望む

答 市の財政状況や各種計画を踏まえ、長期的視点で建設について研究する必要があると考えている。



今井珠泉画伯「雪花（春日大社）」

問 南湖公園内の案内板を分かりやすくして欲しい。

答 南湖十七景や遊歩道コース、休憩施設等利用者視点に立った表示内容や設置場所を検討する。



問 今年の稲作柄について

答 平年並みとみているが、注意喚起する。

問 学校でのいじめについてさらなる対策を望む

答 いじめで苦しむ子どもがいなくなるよう、学校と保護者の連携を図り、いじめの未然防止、早期発見・早期対応にかかる取り組みを進める。

稲作農家への支援を！



米価の下落幅などを見定めながら対策を検討する

根本 建一 議員

問 米価の下落について内堀県知事は「専らコロナ禍による需要減少の影響と受け止めている。」と述べ支援検討を進めるとしている。2年連続の大幅な価格下落により、経営継続、後継者担い手、また新規就農を検討されている方の意欲が大きく低下することが懸念されることから、本市としても積極的な支援策を講じていただきたい。

答 平成26年にコシヒカリが一俵8千円となった際は翌年度「米価下落緊急対策事業」を実施した。今後示される買い取り価格によっては、支援策を検討する。



問 後継者に経営を移譲するにあたって、施設を充実したいという声があるが、後継者が新たな品目に取り組んだり、規模を拡大する際の支援が必要と考えるが、本市における後継者支援について伺う。

答 市単独の「がんばる新規就農者支援事業」は親から経営を承継する場合も対象としており、後継者の規模拡大や新たな品目への支援を行っている。また、農水省の「農業次世代人材投資事業」などを活用し引き続き次世代の人材確保に向けた支援を行っていく。



国道294号白河バイパスの進捗状況について



9月末時点で 89%に達する

鈴木 裕哉 議員

問 「小峰大橋」と「南湖トンネル」の名称も決定し、いよいよ完成が期待されるなか進捗状況について伺う。

答 白河バイパスの整備は、東日本大震災以降かつてないスピードで進んでいる。橋梁やトンネル等の難工事も着実に整備され、現在は横町・田町の道路改良工事と電線地中化が進められ、工事全体の進捗率は9月末時点で89%となっている。開通後は白河中央スマートICと国道4号、国道289号が縦軸でつながり、小峰城と中心市街地、南湖公園が結ばれて観光資源の新たな活用が期待される。

問 今年6月、千葉県八街市において小学生の列に車が突っ込み、児童5名が死傷する痛ましい事故があった。本市における通学路の安全対策について伺う。

答 この事故を受け、全国の小学校に緊急点検の依頼があった。危険箇所の見直しの結果、市内15校すべて

から報告があった。今後、国・県・市の道路管理者や警察と協議し、「子ども目線」の安全対策を行うことで事故の未然防止に努める。



交通量の多い通学路（横町）



南湖トンネル（栄町側より）



小峰大橋（葉ノ木平側より）

市長は職員に自らの理念をどのように伝え、そして期するものは何か



評論家ではなく実務家として結果を出す努力を。臨機応変に対応できる職員の育成に努める。

戸倉 宏一 議員

問 市長は、チーム白河（白河市）の指導者として自らの理念をどのように市民職員に伝え、職員に期するものは何か伺う。

答 歴史上の新しい時代を切り開いた偉大なリーダーたちは、高く大きな目標を達成するための情熱と使命感、確固たる信念、さらに冷静な判断力と行動力があつた。私も市長就任以降、あらゆる機会を捉え、市政のビジョンや具体的な目標を伝え、繰り返し言ってきたことは、まず、我々は評論家ではなく実務家として結果を出そうと努力すること。また、不作為は罪であることを肝に銘じチャレンジすること、行政の持っている知識や情報は市民のものであること、現場に足を運び、よく市民の話を聞くこと、分かりやすく説明すること、小さき声を拾い、弱い人を助けることを旨とすること、自らの足で動く気概を持つこと、を繰り返し言ってきた。

今後も私の心構えや仕事



への向き合い方が職員に浸透し、市役所の組織風土として根付くよう取り組む。職員の研修については、多様な住民ニーズや、めまぐるしく変化する社会情勢に臨機応変に対応できる職員の育成に努める。

陸上競技場の出入口は北側の狭い階段ではなく管理棟にすべきである



施設の無断利用や備品の盗難防止の理由から大会やイベント以外は開放しない

大花 務 議員



年間85%利用の階段



年間15%利用の管理棟

問 陸上競技場の出入口は、北側の狭い階段からではなく管理棟から出入りすべきである。管理棟側と階段側から出入りしている利用者の割合。鍵が掛かる部屋があるのに管理棟が使用しない理由をあわせて伺う。

答 今年度秋から再建工事に着手し、茶室も利用できる施設として令和4年度の完成を見込んでいます。

問 旧小峰城太鼓櫓整備事業について伺う。

答 復元根拠資料の整理、施工方法などを検討する基本設計に着手し、今年度完了する見込みである。今後は実施設計や復元工事を計画的に進め、令和6年度の完成を見込んでいます。

問 清水門復元整備事業の令和2年度の主な事業内容と今後の予定について伺う。

答 管理棟から出入りしている割合は、15%で2万5977人、北側の階段から出入りしている割合は、85%、14万2529人である。管理棟を使用させない理由は、管理人が常駐していない施設であり、施設の無断利用や備品の盗難防止など保安管理上の理由から大会やイベントにおける使用以外は開放しない。

性の多様性の観点から中学校の制服を選択性にしてはどうか



検討する際の視点の一つにする

室井 伸一 議員



問 中学校の制服を選択制にすることについて

答 制服に関しては、男子は学生服、女子はセーラー服を採用している。セーラー服のスカートの防寒性や機能性、さらにはトランスジェンダーの生徒への配慮などから制服選択制について議論を始めていくことは大切である。生徒や保護者の意向を踏まえた各校での制服見直しの機運を捉え、検討する際の視点の一つに加えるよう働きかけていく。

問 新型コロナウイルスの変異型のデルタ株により若者や子どもへの感染が増加しているが、現在、学校ではどのような対策をしているのか。

答 基本的な感染症対策の徹底こそが重要であると考へ、二学期のはじめに各校に通知し、保護者宛てに文書とメールで協力を依頼している。また、随時、提供される文部科学省からの情報を学校や保護者へ提出し、危機意識を共有するよう努めている。



児童・生徒が使用するタブレット、いじめ対策はされているのか？



パスワードは共通のものではない。今後もセキュリティや管理に努めていく

大木 絵理 議員

問 〇りぶらん10周年の評価と来年度の図書購入費の見直しは？

答 市民一人当たりの貸出冊数と図書購入予算額は県内13市中最も多く、〇りぶらんが市民生活に身近な存在となっていることを実感している。令和4年度も今年度同様の予算確保に努めていく。

問 2期目就任となった芳賀教育長の教育方針を伺う。

答 「子ども第一を貫くこと」が教育の真髄。各種事業を進めるにあたり、保護者、地域の声を重視し、優先順位を議論していく。



問 現段階でタブレットを持ち帰り授業のオンライン中継はできるのか。また、タブレット端末のいじめ対策は？

答 授業の中継ができるまで段階をふんでいく。まずはドリル学習を行う。パスワードは個別になっており、フィルタリングで制限している。

問 今年オンライン開催となった成人式。20歳の希望、コロナ収束後、新成人が集まり再会できるイベントを！

答 オンライン開催は一定の評価をいただいた。イベント開催は現時点考えていない。

DXの意義と社会への影響、市の対応は？



デジタル弱者対策を講じ、皆がデジタルの恩恵を享受できるよう進める

縄田 角郎 議員

問 デジタル庁発足に伴う本市のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の意義と社会への影響及び市の対応について

答 本市の「推進方針」などに基づき、DXを推進する。また、デジタル弱者への対策も講じつつ、多くの市民がデジタルの恩恵を享受できるよう進める。



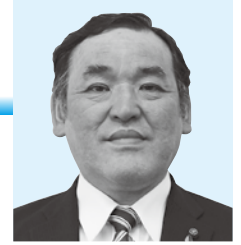
問 大信地域小学校統合準備に向けた、各小学校の児童クラブの件について

答 児童クラブについても統合することが原則と考えているが、教室が手狭で困難な状況である。そのため、信夫一小学校と信夫二小学校については、信夫第一小学校児童クラブを、大屋小学校区については、現在利用している大屋小児童クラブの利用を考えている。

問 今回発生した凍霜害や電害をはじめとした農業災害に関する今後の支援策について

答 今回の凍霜害では、防霜ファンが果樹の被害抑制に効果を発揮したため、より多くの農家が導入できるよう、県に複数年度の追加補助を要望する。今後も災害に備えた予防措置のほか、災害発生時の資材購入や機械、施設の現状復旧等、国や県と連携して取り組む。

どうなる武道館の本格的改築は？



計画により、令和8年までに改築案結論を出す

大竹 功一 議員

☞ 2月の地震により、武道館も大きな被害を受けた利用者及び市民の方から改修を望む声が寄せられたため耐震補強を含め改修予算を提案した。改築等の検討については個別施設設計画に基づき、令和8年までに行うこととしているので、今後、市民の意見等も聞きながら、総合的に判断していく。

☞ 2月13日に福島県沖で発生した地震により、市内各所でも被害があり、その一つに武道館がある。被害の大きさに2月以降使用不可となっていた。今回、被害の状況を受け、耐震補強工事を含め、約5千万円になる改修の補正予算が9月議会に提出された。しかし、市民から「周辺の道路が狭い」「駐車場が少なく大きな大会ができない。」との声があるが本格的な改築は



☞ 新型コロナウイルス感染症対策支援事業として、4回目となる割引クーポン券の発行事業はどのような内容なのか。

☞ 多くの市民から、この事業について高評価をいただいたため、3回目と同じ内容で12月に実施を予定している。

行政が発する適切な情報が市民の「命」を救う



新しい防災対策の研究を検討する

柴原 隆夫 議員

☞ 気象庁や県との密な情報を共有し、ご指摘の気候変動に対応した新たな防災対策を検討していく。

☞ 本年7月3日、静岡県熱海市で梅雨の長雨と線状降水帯による大雨で、盛り土の崩壊から土石流災害が発生し、多くの市民が犠牲者となった。住民の避難行動を支えるのは、行政が発する情報である。市長の避難指示の遅れもあり、市民の救える「命」が救えない災害となった。この熱海市の教訓をどのように活かすのか。また、近年これまでの自然災害とは異なり、予測困難な線状降水帯による大雨の災害が毎年発生し新たな防災対策の研究が必要かと。



☞ 国土交通省は「重ねるハザードマップ」により地震や大雨で崩壊の恐れがある大規模盛り土造成地を全国で約5万箇所を示しているが、本市にはこれに該当する箇所はあるのか。

☞ これに該当する箇所は179である。盛り土の崩壊や変形の防止、構築物等を設けるなど工法の検討を進めている。



大規模に盛土造成された宅地の急斜面

220年を迎える南湖公園を次世代へ受け継ぐため市長の考えは?



市民の思いを未来へ引き継ぐため、条例の制定を検討する

石名 国光 議員

問 造園から220年の南湖公園(土民共楽と自然・歴史・文化と良さを次世代に受け継ぐための対策について市長の考えを伺う。

答 南湖は、身分の別をなく楽しめる土民共楽と、平和の世に美しい風景を楽しむ「泰平無事」の理念のもと築造され、これまで、南湖の魅力さをさらに高めるため、店舗群一帯に地区計画を導入し、出店を容易にした。引き続き美しい景観を守り、行楽地・観光地としての価値を高める施策を講じ、未来に引き継ぐため条例の制定に向けて検討を進める。

問 神社ライトアップに竹灯籠で地元町内会が協力することについて伺う。

答 南湖の観光イベントがきっかけとなり、地域の協力で南湖の魅力を高めることは重要であるため、今後南湖共栄会や地域と連携し、誘客促進につなげる。



問 南湖公園内に街路灯が少なく、暗くて怖いとの声が多い。早期に増設できないか伺う。

答 菅生館駐車場から南湖神社まで、町内会や関係者と街路灯の設置場所などについて検討し、設置していく。

複合施設建設に市民の声をどのように反映できるのか!?



「ガス抜き」にならないよう、丁寧な議論をすすめていく

深谷 弘 議員

複合施設建設への市民参加

問 市民がこの施設建設にどのように関わることができるとか、市民の声をどのように反映させるのか大きなポイントである。第1回基本設計検討委員会の議事録・資料の体制図で、「住民参加」として「基本設計検討委員会」と「住民意向の把握」があるが、その役割や手法・内容はどのようになっているか。

答 基本設計検討委員会は施設に導入する機能に関連する団体や建築の専門知識を持った学識経験者、公募による市民など、様々な立場から幅広い意見を反映させることを目的に設置した。各団体へのヒアリングでの意見交換、ワークショップでの自由な意見・アイデア交換、基本設計素案が固まった段階でのパブリックコメントなど市民の声を聴くことになっている。

問 市民や議会への情報開示が遅すぎる。これで市民参加が保障できるのか。

答 会議録等をまとめるのに時間がかかるが、できるだけ早く開示したい。議会には節々できちんと報告していきたい。

